

主日礼拝

2023 年 10 月 22 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。
喜び祝い、主に仕え
喜び歌って御前に進み出よ。」 (詩編 100:1~2)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえち
からはた一だ主に あれ一、と一こしえまで一。
アーメン。

交読詩編 121:1~8

司式者：目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。
会衆：わたしの助けはどこから来るのか。
司式者：わたしの助けは来る
会衆：天地を造られた主のもとから。
司式者：どうか、主があなたを助けて
足がよろめかないようにし
会衆：まどろむことなく見守ってくださるように。
司式者：見よ、イスラエルを見守る方は
会衆：まどろむことなく、眠ることもない。
司式者：主はあなたを見守る方
会衆：あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。
司式者：風、太陽はあなたを撃つことがなく
会衆：夜、月もあなたを撃つことがない。
司式者：主がすべての災いを遠ざけて
あなたを見守り
会衆：あなたの魂を見守ってくださるように。
司式者：あなたの出で立つのも帰るのも
会衆：主が見守ってくださるように。
一同：今も、そしてとこしえに。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを
キリエ エレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを しゅよあわれみを

聖書 ルカによる福音書 10:38~42

新約(新共同訳)P127

38 一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。39 彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。40 マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」41 主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。42 しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

賛美 412 「昔 主イエスの」

詞：由木康、1896-1985

TRIUMPH NO.2
曲：W. H. Vibbert, 1839-?

むかし主イエスのまきたまいし、
いともしききいのちのたね。
めばえそだちて地のはてまで、
そのえだをはるきとはなりぬ。

- | | |
|--|--|
| 1 昔主イエスの 蒔きたまいし、
いともしききいのちの種。
芽生え育ちて 地の果てまで、
その枝を張る 樹とはなりぬ。 | 3 時代の風は 吹きたくりて、
思想の波は 騒ぎたてど、
すべてのものを 越えてすすむ
主イエスの国は 永久に栄えん。 |
| 2 歴史のながれ 旧きものを、
帰らぬ過去へ 押しやる間に、
主イエスの建てし 愛の国は、
民より民へ ひろがりゆく。 | 4 父なる神よ、み名によりて
世界の民を ひとつとなし、
地の果てまでも み国とする
約束を、いま果たしたまえ。 |

説教 「マルタとマリアと私たち」

賛美 459 「飼い主わが主よ」

Savior, like a shepherd lead us
詞：Dorothy A. Thrupp, 1779-1847

BRADBURY (SHEPHERD)
曲：William B. Bradbury, 1816-1868

かいぬしわが主よ、まようわれらを
わかくさのべにともないたまえ。
われらをまもりて やしないたまえ、
われらは主のもの、主のむれなれば。

- | | |
|--|---|
| 1 飼い主わが主よ、まよう我らを
若草の野べにともないたまえ。
我らを守りて 養いたまえ、
我らは主のもの、主の群れなれば。 | 3 救しのみちかい、救いのめぐみ、
きよむる力は ただ主にぞある。
我らをあがない 生命をたまう、
我らは主のもの、主に在りて生く。 |
| 2 良き友となりて 常にみちびき、
まよわば尋ねて つれ帰りませ。
我らの祈りを 受け入れたまえ、
我らは主のもの、ただ主に頼る。 | 4 主よ、いつくしみを 我らに満たし、
今よりみむねを なさしめたまえ。
我らをあわれむ み恵みらかし、
我らは主のもの、ただ主を愛す。 |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 向井 希夫牧師
説教 三谷 高康院長・学長
奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。